

令和2年度市川三郷町第2次総合戦略

総合戦略検証委員会中間検証結果
(令和2年11月17日開催)

令和2年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 検 証 評 価 委 員	検証委員意見・評価等		
継 続	NOPPUIブランド事業 (農林課 農林係) 【概要】 大塚地区でのっふいと呼ばれる良質な土壌から生産される農産物を地域ブランドとして掲げることで、他地区の農産物との差別化を図り、町のイメージアップにつなげる。 【数値目標】 ・試作品を9品目を開発 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・4品:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・7月に甘々娘の試食品は作成している。また、キウイや大塚にんじんについては、12月の収穫時に合わせて試作品をつくり、それをイベントで試食していただくことを検討している。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	○成果が見えにくいとは思いますが、発展させていって、未永く名前が残るようなものにして頂きたい。 ○目標の9品目のうち4品目は試作されており、残り5品は思案中とのことであるが期待したい。 ○色々作品を考えている様子が伺え、努力を感じられます。協力事業所がみつきり業務委託できれば良い品物ができると思います。目標に向かい成果を出してください。 ○事業の展開のゴールが不明瞭な気がする。(試作品9品目は別として) ○NOPPUIとのっふいの違いが一般の方に理解されるか疑問。タグを組めないものか。 ○「のっふい」という言葉は、県内全域で認知されているのだろうか？県内へのPRが必要と考えます。「のっふいブランド野菜」をシーズンと関連させPR。 ○ブランド力向上＝もうかる農家。農家の方が安心して農業を続けられる環境の整備。 ○どこにでもある様な物ではない物を見つけて欲しいと思います。 ○NOPPUIブランド、高校生にも考えてもらったらいかがでしょうか。		
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)				
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)				
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。				
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。				
		今後の方向性					A	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)				
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)				
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)				
				D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)			

令和2年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準		全検証 評価委員	検証委員意見・評価等
新規	青洲高校との協働による事業の推進 (商工観光課 商工係) 【概要】 ・青洲高校において、峡南地域学として地場産業を座学と実践の授業として開催する。 【数値目標】 ・カリキュラム実施回数:6回 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・1回:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・コロナ禍により実施回数が減少した。10月からフィールドワークを開催し、峡南地域学を通じ町の地場産業を知ってもらう。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○良い事業だと思います。印章や花火のフィールドワークにも広げていって地域の活力になる学生を増やして欲しい。 ○今後の青洲高校に期待したい。 ○地場産業として興味をもってもらえた事は大変良かったと思います。理解を深め将来的なものにつながると良いと思います。 ○当該者として、今後担当者と連携して頂き、峡南地域学を良いものへとブラッシュアップできるよう協力をお願いします。 ○地域の発展には、まず若い人達が地域を知る必要があり、現在取り組んでいる内容は素晴らしい。商業、工業、普通科の生徒があらゆる分野の地場産業を理解して欲しい。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性			C	○まだスタート段階なので、よくわかりませんが、将来、地域で活躍してもらえる人が育てばいいと思います。 ○高校生に特産品を考えてもらってはいかがでしょうか。学園祭でアピールしてもらう。 ○他町の生徒に関心を持ってもらったことは嬉しいですね。
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和2年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
継 続	手漉き和紙後継者育成事業 (商工観光課 商工係) 【概要】 ・地場産業は生活様式の変化などにより需要が減少し、深刻な後継者不足である。商工会、和紙組合等と連携し手漉き講習会、手漉き和紙体験などを実施し後継者育成を図っていく。 【数値目標】 ・後継者育成候補者数:2名維持 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・2名維持:順調(目標値以上) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・講習会には、常時決まった2名が毎回中級(後継者候補)に参加している。今後は地域おこし協力隊などで募集していく。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○独立してからの生活ができるかが大きな問題かと思しますので、事業は継続していただく中で、販売や儲けのノウハウも学べるようになると良いと覆います。 ○後継者2名に続き今後も、大学生ともコンタクトをとって発展に向けて頂きたい。 ○工房での講習会を多く実施して、より良い手漉き和紙の出来ることを期待します。今後、後継者が多くできると良いと思います。 ○知って頂く事が大切だと感じる。PR事業に積極的に取り組んで頂きたい。 ○後継者としての生活設計を見据えてあげることも必要かと思います。 ○手漉き和紙後継者育成で2名の方が後継者になってくれた事は良い事。手漉き和紙職員として、生計を立てる事が出来る将来像を示すことも必要。地域商社との連携も必要。 ○大変難しい問題ではありますが、後世に残していくことが大切であると思います。 ○市川夢工房にずっと勤務するのではなく、独立できるように支援して行って欲しいです。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性			A	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
				D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)	

令和2年度市川三郷町総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準		全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
継続	市川三郷町ゆかりの会「りんどう」事業 (政策秘書課 秘書係) 【概要】 ・町外、県外で生活している町内出身者や市川三郷町を応援してくださる方々、町民を含めたゆかりの会を運営し、観光情報や移住情報、ふるさと納税制度の情報を発信し、市川三郷町を応援してもらう。また、会員の故郷への貢献や出身者同士の親睦を図る。 【数値目標】 ・町外個人会員数：76人⇒80人(4人増) 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・2名(町外個人会員数78人)：努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・新型コロナの影響により交流事業の実施が難しい中で、いかに町と会員同士のつながりを感じられるようにできるかが課題。新規入会は個人のつながりの中での声掛けでの実績があり、個別の声掛けにつながるような取り組みをしていきたい。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	○会の存在をPRする工夫が必要かと思います。大きく発展しそうな事業だと思うので、頑張ってください。 ○設立されて3年目ということですが、今後もPRや色んな点で周知して頂きたい。 ○色々アピールして会員が増えると思います。一会員として町外の個人の方に声掛けをしたいと思います。 ○会の知名度をもっと広げていく必要を感じる。入会者のターゲットを明確にすると、内容の工夫もできるのではないかな。 ○町外、県外で生活している町内出身者や本町を応援してくれる方々との交流は必要であり、郷土愛が更に深まると思う。 ○情報発信の方法を何か考えた方が良いように感じます。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性			A	○会の知名度をもっと広げていく必要を感じる。入会者のターゲットを明確にすると、内容の工夫もできるのではないかな。 ○目標値4名と少ないように思います。 ○友人照会キャンペーンなどはしているのでしょうか。 ○ネット会員募集してはどうですか。
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和2年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
継 続	若者定住促進住宅補助金事業 (政策秘書課 企画係) 【概要】 ・町からの移住・定住及び町内からの人口の流出を防ぐことを目的に、町内へ住宅を取得した若者世帯(夫婦いずれかが満40歳以下)に対し補助金を交付。 【数値目標】 ・補助金申請件数:30件 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・10件:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・住宅着工にコロナの影響はないと考えていたが、昨年度に比べ申請件数は低調。原因として、昨年10月に消費税が上がった駆け込みがあり、年度初めの着工が落ち着いたと考えられる。これらを考慮し8月に住宅メーカーへのチラシ配布を行った。	事業の進捗状況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○若者に対してなので、子育て支援の点も大きくアピールできれば良いと思います。住む側にとっては、比較できるものが欲しいと思いますので、比較できるものを作成できればと考えております。 ○ターゲットを町外のみではなく町内でも年齢に該当すればOKという枠が広がったため定住者が増えたのでよかった。 ○ハウスメーカーによる案内は大変良いと思います。定住して世帯が増える事を期待します。 ○50数名の出生の副次的効果があったとのこと。今後も事業の振興に期待したい。 ○町外からの移住、定住及び町内人口流出を防ぐためには、有効な手段。今後も継続すべき事業。 ○人口が増えた(移住者)のは大変良いことです。 ○六郷小の児童数が心配です。若い人に定住してもらえるよう早急に対策を考えていただきたいです。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性			C	
			A	事業拡充(さらに発展させるべき)		
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和2年度市川三郷町総合戦略中間検証

区 分	事業名 (担当課)	評価 項目	評価基準		全 体 検 証 委 員 評 価	検証委員意見・評価等
継 続	ふるさと納税推進事業 (政策秘書課 ふるさと納税係) 【概要】 ・平成20年から始まったふるさと納税制度も10年が経過し、多くの人が活用するようになった。今後も町が実施する全ての事業に関わり事業を展開していく。 【数値目標】 ・寄附申込数:12,000人 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・9,436人:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・年間寄付額の約3割が12月に申込があるため、11月と12月にポータルサイト広告及びインフィールド広告を利用し、露出度を上げ対応する。	事業 の 進 捗 状 況	A	KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○町の大きな収入の柱にもなると思いますので、引き続き頑張ってください。 ○今年で11年目にして、担当者の努力と熱意が伝わったということ。返礼品も希望に沿った品物ということでもあるのでは。 ○コロナの影響もある中ですが、後半、寄付数が増える事を期待します。市川三郷町の返礼品のPRもしたいと思いました。 ○説明のあったとおり、露出度を上げ、目標金額を達成することを期待したい。 ○ふるさと納税のお礼が充実していることから、納税額が増加していると考えます。市川三郷町の特産品を増加させ魅力ある町になることが大切だと思います。 ○返礼品も増やす方向でお願いします。 ○地場産業が発展するためにも、よりよい返礼品になるようアドバイスをしていただけると思います。
			B	KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C	KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D	KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E	KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後 の 方 向 性	A	事業拡充(さらに発展させるべき)	C	
			B	事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C	事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D	事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		